

市民・学校・企業との連携による教材・教具・作品づくり事業

特別支援教育課

1. 事業目的

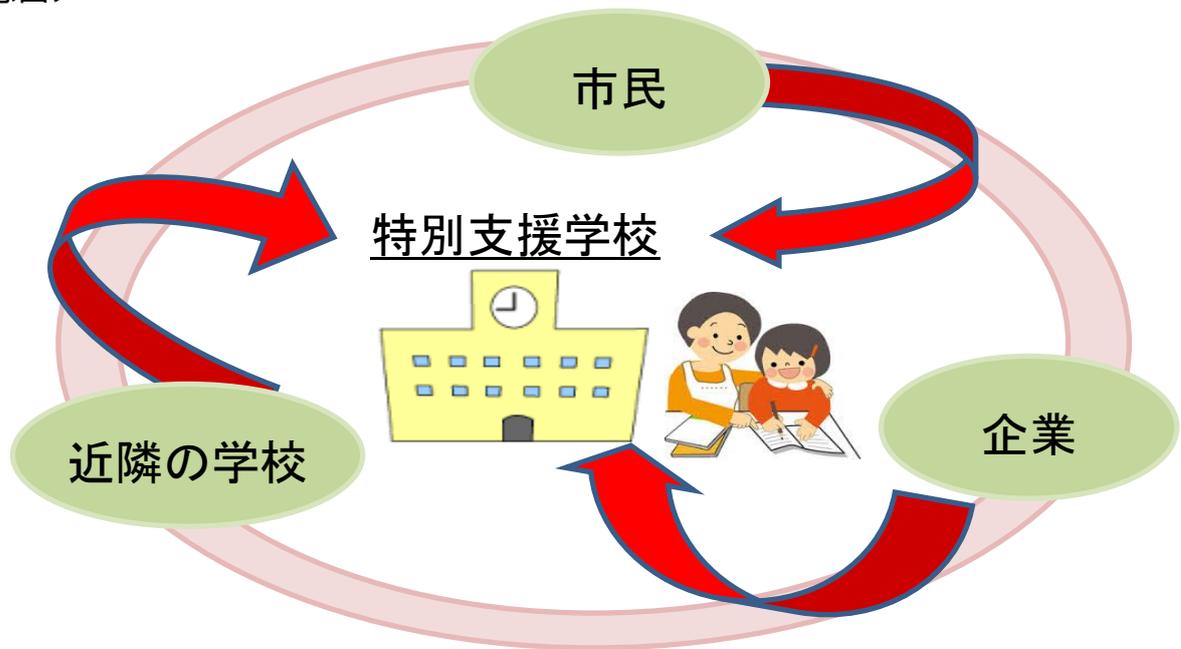
平成28年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の基本方針においては、「障害者差別が、本人のみならず、その家族等に深い影響を及ぼすことを、国民一人ひとりが認識するとともに、法の趣旨について理解を深めることが不可欠であり、また、障害者からの働きかけによる建設的対話を通じた相互理解が促進されるよう、障害者も含め、広く周知・啓発を行うことが重要」と規定されている。

市長公約の中でも、市民の障害者理解の大切さや共生社会の実現に向けた意識の向上等が示されており、こうした動きを踏まえた新たな取組として推進するものである。

2. 事業概要

市民や企業、近隣の学校と特別支援学校が共同で教材・教具・作品づくりを行うことにより、障害特性に応じた合理的配慮に関する理解を促進し、官民一体となった障害者理解を推進する。

<概念図>



<平成28年度 活動実績>

	5月	6月	7月	8月	9月	11月	12月(H29)	2月	3月	4月	5月	
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉総合特支との打ち合わせ ・年間計画作成 ・ボランティア募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア2名登録 (若園市民センターの館報掲載) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉総合特支の職員のニーズ調査 ・ボランティア結果集約 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果集約 ・備品購入等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア作品作成開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材完成・児童生徒との交流 ・ボランティア募集 ・報道機関を通しての情報公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・北方市民センター館報掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・西日本新聞取材 2月2日(日刊紙)掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の作品計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK北九州放送 ・「ニュースブリッジ北九州」 	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK福岡放送 ・「はっけんTV」 	

市民・学校・企業との連携による教材・教具・作品づくり事業

<作製された教材>



(書見台)

弱視や腕をうまく伸ばせない
児童生徒のため

(カットアウトテーブル)

姿勢保持が困難な児童生徒のため

(T字型クッション)

緊張の強い児童生徒のため



(スライドスイッチ)

始点・終点を意識して体を
動かす器具



(振動でお知らせ)

スイッチが入ると振動し、触覚
で合図を送る道具



(簡易ベッド)

畳一畳分のベッドで、車椅子から楽に移
動できるように高さを配慮している。



市民ボランティアが教材・教具を作製している様子